

特別展
阿波藍商の〈たからもの〉

本展覧会は、徳島県内、吉野川流域で発展した江戸時代以来の藍商の流れを汲み、明治以降は酒造、紡績業などにも携わった名望家・素封家の家に伝わった近代日本画のコレクションを、名付けて「阿波藍商コレクション」の名品を、はじめで紹介するものです。

明治から大正、昭和初期にかけて活躍した当主によって収集された、このコレクションは、横山大観や下村観山をはじめとする日本美術院系の画家を中心に、富岡鉄斎、あるいは上村松園など京都画壇、関西系の画家をも交えた近代日本美術史を彩る主要作家の作品が網羅されています。阿波藍の隆盛によって蓄積された藍商の富を背景にして、はじめて可能となった一大コレクションであるとともに、それが徳島大空襲の戦火をまぬがれ、戦後から現在にいたるまで人知れず守り伝えられた奇跡のコレクションともいえるでしょう。この秋、阿波藍商の後裔が育んだ美意識に触れていただきながら、近代日本美術の精華をご堪能ください。

3 下村観山



下村観山《寿星》

7 近代日本画にみる女性像

鏑木清方・池田輝方・池田蕉園・上村松園



池田蕉園《徒然》

4

院展に集う画家たち

菱田春草・川合玉堂・木村武山・寺崎広業・小林古径・今村紫紅・速水御舟



菱田春草《海辺》

6

古くて新しい南画の世界

小室翠雲・富田溪仙・小杉放庵・菅桶彦



富田溪仙《薩摩富士・琉球糸満》

1 富岡鉄斎



富岡鉄斎《解衣換酒》

2 横山大観



横山大観《長瀬》

5

近代京都画壇の展開

竹内栖鳳・菊池契月・橋本関雪・土田麦僊。村上華岳



村上華岳《観音》

※会期中、作品の展示替があります。